

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公開番号】 特開 2000-175118 (P2000-175118A)

【公開日】 平成 12 年 6 月 23 日 (2000.6.23)

【出願番号】 特願 平 10-366130

【国際特許分類】

H O 4 N 5/44 (2006.01)

H O 4 N 5/60 (2006.01)

H O 4 N 7/08 (2006.01)

H O 4 N 7/081 (2006.01)

【F I】

H O 4 N 5/44 Z

H O 4 N 5/60 Z

H O 4 N 7/08 Z

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 12 月 7 日 (2005.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ディジタルテレビ放送を受信し、画像および/またはサウンドの再生が可能な放送受信装置であって、

画像、サウンド、および、付随するシステムデータから構成されるテレビ放送情報を受信する受信手段と、

前記システムデータに基づき受信画像およびサウンドを再生する再生手段と、

前記受信画像がオブジェクト単位に分割されたデータ形態を有する場合、ユーザによって指定されたオブジェクトに対して有効なシステムデータの内容を変更することで、前記指定されたオブジェクトの再生形態を設定する設定手段とを有することを特徴とする放送受信装置。

【請求項 2】

さらに、前記設定手段により設定される、前記指定されたオブジェクトの再生形態を、前記システムデータに含まれる放送番組を示す情報に対応付けて記憶する記憶手段を有することを特徴とする請求項 1 に記載された放送受信装置。

【請求項 3】

前記再生手段は、前記受信されたシステムデータに含まれる放送番組を示す情報に対応する再生形態が前記記憶手段に記憶されている場合、前記記憶手段から読み出した再生形態に基づき、受信画像およびサウンドを再生することを特徴とする請求項 2 に記載された放送受信装置。

【請求項 4】

前記再生形態には、オブジェクトの表示/非表示の設定、表示位置の移動および表示サイズの変更の少なくとも一つが含まれることを特徴とする請求項 2 または請求項 3 に記載された放送受信装置。

【請求項 5】

前記ディジタルテレビ放送とは、MPEG4 方式で符号化された画像およびサウンドデータ

を放送するものであることを特徴とする請求項1から請求項4の何れかに記載された放送受信装置。

【請求項 6】

ディジタルテレビ放送を受信し、画像および/またはサウンドを再生する放送受信方法であって、

画像、サウンドおよび付随するシステムデータから構成されるテレビ放送情報を受信し

、
前記システムデータに基づき受信画像およびサウンドを再生する際に、前記受信画像がオブジェクト単位に分割されたデータ形態を有する場合、ユーザによって指定されたオブジェクトに対して有効なシステムデータの内容を変更することで、前記指定されたオブジェクトの再生形態の設定することを特徴とする放送受信方法。

【請求項 7】

さらに、前記指定されたオブジェクトの再生形態を、前記システムデータに含まれる放送番組を示す情報に対応付けて記憶手段に記憶することを特徴とする請求項6に記載された放送受信方法。

【請求項 8】

前記受信したシステムデータに含まれる放送番組を示す情報に対応する再生形態が前記記憶手段に記憶されている場合、前記記憶手段から読み出した再生形態に基づき、受信画像およびサウンドを再生することを特徴とする請求項7に記載された放送受信方法。

【請求項 9】

放送受信装置を制御して、請求項6から請求項8の何れかに記載された放送受信を実行するコンピュータプログラムが記録されたことを特徴とするコンピュータが読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

【従来の技術】

近年、衛星放送やケーブル放送を用いたディジタルテレビ放送が開始された。ディジタル放送の実現により、画像や音声を含むサウンドの品質向上、圧縮技術を利用した番組の種類や量の増大、インタラクティブサービスなど新しいサービスの提供、受信形態の進化など多くの効果が期待される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明にかかる放送受信装置は、ディジタルテレビ放送を受信し、画像および/またはサウンドの再生が可能な放送受信装置であって、画像、サウンド、および、付随するシステムデータから構成されるテレビ放送情報を受信する受信手段と、前記システムデータに基づき受信画像およびサウンドを再生する再生手段と、前記受信画像がオブジェクト単位に分割されたデータ形態を有する場合、ユーザによって指定されたオブジェクトに対して有効なシステムデータの内容を変更することで、前記指定されたオブジェクトの再生形態を設定する設定手段とを有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明にかかる放送受信方法は、デジタルテレビ放送を受信し、画像および/またはサウンドを再生する放送受信方法であって、画像、サウンドおよび付随するシステムデータから構成されるテレビ放送情報を受信し、前記システムデータに基づき受信画像およびサウンドを再生する際に、前記受信画像がオブジェクト単位に分割されたデータ形態を有する場合、ユーザによって指定されたオブジェクトに対して有効なシステムデータの内容を変更することで、前記指定されたオブジェクトの再生形態の設定することを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】